

「自然公園におけるリスク管理のあり方～管理者と利用者の責任」

主催：自然公園研究会・山岳レクリエーション研究会

共催：環境省釧路自然環境事務所、北海道

後援：北海道森林管理局、斜里町、羅臼町、知床財団

目的：自然公園の利用や管理には、様々なリスクがともなう。過去には、けがをした利用者が管理者を訴えるという事例もある。自然地域の利用は自己責任であると考えられる利用者がいる一方で、一定の管理者の責任も免れない。本シンポジウムでは、過去の訴訟事例の分析、海外での対応事例を学習し、今後の自然公園におけるリスク管理のあり方について幅広く議論をする機会を設ける。

1. 日時：2009年9月24日（水曜日） 午後18時30分から21時

2. 会場：知床世界遺産センター（斜里町ウトロ）

3. 内容：

はじめに「自然公園におけるリスク管理の課題」

北海道大学大学院農学研究院 愛甲 哲也

講演「自然公園における事故による訴訟事例の分析」

自然環境研究センター 東條 泰大 氏

話題提供「ニュージーランドおよびカナダにおけるリスク管理の仕組み」

東京農工大学 土屋 俊幸 氏

森林総合研究所北海道支所 八巻 一成 氏

「知床国立公園におけるリスク管理の課題」

知床財団 寺山 元 氏

ディスカッション：上記の話題提供の内容および知床での今後のリスク管理のあり方について、議論を行う。

<問い合わせ先>

北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也

Tel&Fax : 011-706-2452

E-mail : tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp